

墨田区議会 Liberal Democratic Party

自由民主党だより

2016

4

April

■発行/墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20)

■発行責任者/坂下 修 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

## 予算案を修正議決・「待機児童解消」の付帯決議

## &lt; 予算案の修正内容 &gt;

**区**長から提出された予算案のうち「第3子以降に対して5万円の小学校入学祝商品券の交付」を行う就学応援事業費1,200万円を削除し、一時的に同額を財政調整基金積立金へ積み立てる修正案を、自民、公明、民主(現:民進)、新しいすみだの4会派共同で提案し、可決されました。区長は、その政策目的を、①定住促進、②生活応援、③出生率向上と説明しました。しかし、区議会での審議の結果、第3子以降に対して小学校

入学の際、5万円の商品券の交付を行うことで、特に①及び③の政策目的が達成されるとは考えられず、政策目的と効果との関係において合理的関連性が証明できないという結論に至りました。更に、第3子以降の②生活応援といいながら、所得制限がまったくないことも問題です。区長もこの提案に理解を示し、今後改めて、政策目的に合致した「就学応援事業」の再構築を図ることとしています。

平成27年度末における待機児童が130名程度になる予測を踏まえ、一般会計予算案は下記のような付帯決議を付して可決されました。

## 付帯決議

... 保育所入所待機児童の早期解決に向けて、国・都・区の未利用・低利用公有地を徹底的に洗い出し、新たに保育所を設置するなど、平成28年度中に、より一層の緊急対策を講じること。

これを受け区は ①大横川親水公園未整備区域を利用した小規模保育所の整備

②八広保育園庭を利用した定期利用及び一時預かり事業を緊急対策として

平成28年度予算案の同時補正案を議会に提出し、可決されました。これにより①で40名程度、②で30名程度の受け入れが可能となりました。

平成29年4月1日までに300名程度の保育定員枠の拡充を予定していますが、可能な限り更なる定員枠増に向け努力して参ります。

## &lt; 予算案に対する自民党の見解 &gt;

1

大学誘致は、これまでの経緯を検証し、早急に誘致を進め、結果を出すことを求める。

2

すみだ北斎美術館開設準備については、11月22日の開館までに、議会が求めた寄付金5億円を達成することや、管理運営費等の圧縮を行うことを求める。

3

東京五輪開催に向けては、両国国技館でのボクシング競技開催の周知徹底と、聖火リレーの本区誘致ほか、全庁一丸となって取り組むことを望む。

4

区民利用が95%を占める区内循環バスについては、区役所、公共施設、病院を経由して欲しいというニーズに応えるため、早急にルート変更を含めた協議を進め、抜本的対応をとることを求める。

5

旧鐘淵中学校に建設予定の(仮称)総合運動場は、東京五輪にこだわらず、長期的利用の観点から検討を進めることを求める。

6

「就職前の女性向け能力開発講座」は効果を検証し報告するまで、「北十間川及び隅田公園の護岸整備・修景事業」はランドデザインを示すまで、「業平小学校舎壁面緑化」は基本的計画を報告するまで、予算の執行凍結を求める。

7

今回、修正案を提出する形となったが、二代表制の中で、区民の福祉向上という共通認識の下、区長と私たちの信頼関係が揺らぐものではない。



▲ 意見開陳の様子



▲ 加藤予算特別委員会委員長



▲ 予算特別委員会委員(左から)

田中邦友・しもむら緑・沖山仁・松本ひさし・中沢えみり・坂井ユカコ



# < 新 年 度 予 算 の 主 な 内 容 と 質 疑 >

新年度予算は、山本区長が就任して初めての大型予算となりました。予算編成の方針として、区長は、

①新基本計画の着実な推進、②女性・子ども・若者など多様な地域人材の活躍推進、

③総合戦略等の推進による区内産業・観光の活性化と芸術・文化振興、

④安全・安心を実感できるまちづくりの推進、⑤更なる行政財改革の推進という5点を掲げ、

区長が公約に掲げた「暮らしたい・働きたい・訪れたいまち」の実現に向けた予算案となりました。主要な事業をご紹介します。

## 働きたいまち

- すみだ地域ブランド戦略の推進
  - 新分野への参入促進
- 新ものづくり創出拠点の整備
  - 女性の活躍推進
- (仮称) 墨田区産学官金  
連携推進会議の創設

## 暮らしたいまち

- 保育施設・学童クラブの徹底整備
- 介護予防・日常生活支援総合事業
  - 子ども食堂・学習塾通塾費用支援等
    - (仮称) 子ども未来館の整備
    - 五輪教育の推進
    - 中学生海外派遣事業
  - 区民の健康寿命UP大作戦!
    - 「健康ポイント」の導入
  - 老朽危険家屋の除却費等助成

## 訪れたいまち

- 吾妻橋付近に「リバーサイドカフェ」誘致
  - 両国エリアの観光回遊性促進
  - ユニバーサルツーリズム推進
- 歩行者・自転車にやさしい道の整備
- 機械式地下自転車駐輪場の整備

介護事業者の取組により、  
要介護者の要介護度が  
改善された場合、  
インセンティブ報酬を導入する等  
検討するべきでは。  
今後ますます進む高齢社会において、  
社会保障制度維持のためにも  
必要な考え方ではないか。

答弁  
国の動向をみて  
検討する。



しもむら 緑

北斎美術館開館に向け  
事業が計画されている  
「花と緑で北斎美術館」と  
他の所管が関わる  
「北斎芸術祭」との  
連携が必要なのでは？

答弁  
北斎芸術祭は  
9～11月の開催を  
予定している。  
「障害者北斎アート展」  
などとも連携し  
展開していく。



中沢 えみり

予算特別委員会では、歳入・総務費・  
区民生活費・資源環境費・国民健康  
保険特別会計・後期高齢者特別会計・  
民生費・衛生費・産業観光費・土木費・  
教育費・議会費と多岐にわたる予算項  
目について、集中審議が行われました。  
質問時間だけで8時間にのぼるわが会  
派の議論から特色ある内容をピック  
アップしました。

答弁  
これまでの  
「講座」形式から  
「対話」型の  
事業を  
展開していく。

地域力育成支援  
事業に関して  
ガバナンスリーダー  
養成講座との  
相違点は？

今後のコミュニティー  
活動に対して、  
わが区独自の  
考え方が必要では？

答弁  
町会・NPO・ボランティアの  
枠を越え本区の未来に  
関心を持つ方の参画で  
地域力日本一につなげたい。



坂井 ユカコ

オープンデータの  
取り組みが  
遅れている。

答弁  
昨年10月に  
公開開始、  
行政基礎資料の  
データのアップを  
進める。



松本 ひさし

アプリコンテストの  
実施など積極的な  
データの公開を。

答弁  
オープンデータを  
活用したアプリも  
開発されているので、  
HPでの公開を  
検討する。



田中 邦友

空き家実態調査は  
調査結果の活用が課題。  
老朽家屋除却については  
防災まちづくり・都市計画との  
連携が必要ではないか？

答弁  
23区全体で700億円。  
うち約4%、  
28億円が本区の  
歳入に影響する。

法人住民税の  
一部国税化の  
本区への  
影響は？



沖山 仁

平成31年度に  
消費税が10%に  
なった場合は？

答弁  
平成31年度の  
影響は51億円  
となる見通し。

答弁  
住宅施策、防災対策、  
観光施策との関連が  
あると認識している。  
組織改編も含め課題としたい。



# 本会議質問 — 区長・教育長に問う —

## 「代表質問」



墨田区議会議員  
沖山 仁

### 新年度予算案について

**問** 新年度の予算案では、「暮らし続けたいまち」の実現に多くの予算配分がなされており、特に子育て支援策の拡充に重点が置かれている。これまで不明確であった「山本カラー」とは、「選択される自治体」を指し、人口の流入及び定住の促進に注力することであると理解した。新基本計画での施策の展開と今任期中の展望は。

**答** 子育て支援・教育・住環境整備を最も力を注ぐ施策としている。今任期中に明確な目標を掲げた上で着実に実行していきたい。

**問** 法人住民税の一部国税化による区財政への影響額は新年度予算で28億円にも上っている。恒常化による区財政の圧迫は今後看過できなくなることが予想されるが、その対応は。

**答** 国の方針は地方税の根本原則を歪める税制改正であるため、23区の区長会を通じて反論していくとともに、地方財源を保障すべきことを主張していく。

- 政策決定の判断基準について
- 増大する保育需要への対応について
- 基金残高について

### 区政の重要課題について

- 新基本計画での財政見通しについて
- 大学誘致について
- 進出予定地に建設可能な施設規模、周辺整備の計画等が不透明である限り、大学側の経営判断として選択されることはない指摘し、先行して高さ制限の撤廃や、周辺の都市計画の策定を求めた。
- 新保健センターについて
- すみだ北斎美術館について

### 東京オリンピック・パラリンピックについて

- 聖火リレーの誘致について
- 問** 地域の活性化・スポーツ熱の醸成・地域イメージの向上等のため、聖火リレーを誘致するべきである。議会としても議員連盟を設立したいと考えているが、区長はどのように考えているか。

**答** 誘致の実現に向けて、議会と協力しながら、組織委員会や東京都に働きかけていきたい。

### 観光施策について

- 区内循環バスについて
- 道路占用許可の特例について
- タワービュー通りや北斎通りなどで、道路占用許可の特例を活用して、

にぎわいの創出を行うべきであることを主張した。この特例の活用は制度創設当初から自民党は求めている。

#### ※道路占用許可の特例

都市再生特措法により、にぎわい創出や利便性向上のためであれば、食事施設や購買施設、看板、自転車駐車器具などの設置について道路占用許可が得られる。

- 国家戦略特区における「民泊」への対応について

### 大規模災害に備えた防災対策について

- 自治体機能喪失への対策について
- 東日本大震災の際、首長の死亡・行方不明、本庁舎の喪失、戸籍等データの喪失などによる初動対応への影響が指摘された。庁舎の火災等、本区における事業継続計画の想定外の事態への対応について質問した
- 事前防災行動計画「タイムライン」の活用について

昨年9月の関東・東北豪雨では、タイムラインの有用性が明らかにになった。本区でも活用するよう求めた。

### 子どもに関する教育・福祉政策について

- 子どもの学力向上について
- 生活実態に関するアンケート調査の実施について
- 子どもの新たな拠り所事業の実施について

## 「一般質問」



墨田区議会議員  
佐藤 篤

### 新たな給付型奨学金の創設について

**問** ①奨学事業は子どもたちの夢を支える命綱だ。子どもの貧困対策にあたつて、本当に必要な子どもたちに本当に必要な支援が届いているのか、区長には不断の改革を求めたい。②北海道北広島市の「子ども夢チャレンジ応援事業」では、「野球選手になるため、大リーグ選手に指導を受ける」「パティシエになるため、有名菓子店で修業する」など、市内の小中学生の夢の実現に向けた挑戦に対し、1件につき最大50万円まで助成する。新年度予算の「就学応援事業」を思い切つてこの「子ども夢チャレンジ応援事業」に切り替えれば、最低でも50万円の奨学金を毎年24人の子どもの夢に投資することができ、区長の決断を求める。

**答** ①子どもの貧困対策について、これまで真に必要な支援がすべての子どもたちに届いているかといえば、難しい点もある。28年度中に実態調査を実施し、適切な施策の構築を図っていく。②北広島市の事例は、子どもたちが夢を持ち、子ども自身が主体的に成長していくことを目的とした事業であり、私が進めるすみだの「夢・実現プロジェクト」の方向性に沿っており、今後、検討を深めていく。

### 京島地区まちづくりについて

**問** 京島地区まちづくりで近年大きく課題となっていることは、近年建設される住宅が、道路後退に協力せず、長年道路拡幅のために住民が協力してきた努力が無に帰してしまうという問題だ。沿道住民の皆様からは「わが家の一角をこの街のためにと思って提供して30年間生活してきた。どうして隣はセットバックしないのか。」という嘆きと怒りの声が上がっている。これを解決するため、一定のルール作りが求められる時期に来たと考える。

**答** 指摘の事例が発生している。京島まちづくり協議会をはじめ地域の方々に、地区計画を含めた意見を伺う機会を設ける。

### 区発注工事の時期の平準化について

**問** いわゆる「担い手3法」の成立や国土交通省通知を踏まえ、積極的な公共工事の発注時期の平準化が求められている。発注時期の平準化は、例えば道路工事について言えば、①交通渋滞の重度化を防ぎ、また②工期を無理なく設定することにより、中小企業も参入しやすくなることから地元業者の保護・育成のメリットがあり、更に③工期の平準化により閑散期である4～6月期の工事が可能となることから、経営の安定化につながるというメリットがある。

**答** 区発注工事において、ここ数年は、工期設定等の理由により契約不調となるケースもあり、これまで以上に計画的な工事発注が求められている。今後も区発注の道路工事については、債務負担行為を積極的に活用するなど、工事の平準化を図り、地元業者の育成に努めていく。



## Topic < 総合運動場・大学誘致について議論 >

### ●総合運動場等整備基本計画(案)について

整備予定地：旧鐘淵中学校跡地(墨田区堤通2-11-1)

基本的な考え方：◆スポーツ・健康づくりの場として  
利用できる運動場

◆青少年の社会教育活動の拠点となる  
セミナーハウス(仮称)を整備

◆防災機能の充実

施設整備内容：◆運動場―陸上競技場・球技場・インフィールド

◆付帯施設―観覧席・セミナーハウス・駐車場・駐輪場

◆地域防災との連携―災害時の避難場所・避難所機能として、  
日常の防災訓練での利用、災害用備蓄物資の備蓄機能としての利用

ご意見、ご要望ございましたらお気軽にご連絡ください。



### ●大学誘致の進捗状況について

現在二つの大学が本区への進出  
意向を示しているとの報告があった。  
引続き協議を行い、今後も情報を  
収集し、誘致決定へ協力していく。



わが会派としては、利用者ニーズを的確に把握して稼働率の向上を目指すこと、周辺まちづくりとの連動性を最重要視し、建設費等の関係から、東京五輪開催に必ずしもこだわらず、区民の長期的利用といった観点からも検討を進められることを強く求めました。



木内 清

- 福祉保健委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会副委員長
- 決算特別委員会委員長
- 基本計画調査特別委員会委員

✉ 本所二丁目10番7号  
☎ 03-3624-8235



坂下 修

- 幹事長・議会運営委員会委員
- 企画総務委員会委員
- 観光対策等調査特別委員会委員
- 基本計画調査特別委員会委員長
- 決算特別委員会委員

✉ 向島三丁目18番10号  
☎ 03-3625-1810



瀧澤 良仁

- 産業都市委員会委員
- 観光対策等調査特別委員会委員長
- 基本計画調査特別委員会委員
- 決算特別委員会委員

✉ 墨田五丁目33番4号  
☎ 03-3611-4003

## すみだ 自民党議員 紹介

墨田区議会自由民主党の所属議員  
です。お近くの議員にご相談ください。



福田 はるみ

- 墨田区議会副議長
- 企画総務委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

✉ 業平四丁目5番16号  
☎ 03-3625-8139



樋口 敏郎

- 墨田区議会議員
- 福祉保健委員会委員
- 観光対策等調査特別委員会委員

✉ 八広三丁目6番3号  
☎ 03-3617-4129



沖山 仁

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 企画総務委員会委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員
- 基本計画調査特別委員会委員

✉ 京島一丁目39番1号918号室  
☎ 03-3617-6558



田中 邦友

- 産業都市委員会委員長
- 行財政改革等特別委員会委員
- 基本計画調査特別委員会委員

✉ 八広一丁目39番17号  
☎ 03-3616-7014



佐藤 篤

- 区民文教委員会委員
- 観光対策等調査特別委員会副委員長
- 基本計画調査特別委員会委員

✉ 京島三丁目18番4号  
☎ 090-8567-8293



しもむら 緑

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 産業都市委員会副委員長
- 行財政改革等特別委員会委員

✉ 亀沢四丁目22番8号608号室  
☎ 080-2443-0212



加藤 拓

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 区民文教委員会副委員長
- 行財政改革等特別委員会委員
- 基本計画調査特別委員会委員

✉ 緑一丁目2番12号503号室  
☎ 050-1334-9640



中沢 えみり

- 企画総務委員会副委員長
- 行財政改革等特別委員会委員

✉ 堤通一丁目5番9号  
☎ 080-5008-9930



坂井 ユカコ

- 福祉保健委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

✉ 東駒形二丁目2番4号  
☎ 03-3622-7063



松本 ひさし

- 区民文教委員会委員
- 観光対策等調査特別委員会委員

✉ 太平三丁目12番11号1F  
☎ 03-3622-8021

お気軽に  
ご意見をお寄せください。

墨田区議会自由民主党

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>